

事業所名

療育サポート ゆめの木

支援プログラム

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念		児童のこれまでも認め・理解し、これからに寄り添い・夢を描くお手伝い		
支援方針		・療育コンセプト：「できた!!」が広がる毎日を。 1. その子の中にある沢山の芽から“強み”を見つけて伸ばす（独自の療育デザイン、褒めたおし療育） 2. 夢を描くオンリーワンな個性を育む（一般療育×専門支援、社会見学・おしごと体験） 3. 親御さんの安心につながる療育サポート（親と子のサポート、安全と健康を守る）		
営業時間		9時30分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	1. 医療職（理学療法士）の監修による健康・衛生管理を実践（検温・活気の確認など日々の健康観察、医療職による感染予防、熱中症対策の実践） 2. お家を連想する施設の中で、家庭で想定される生活習慣の実践練習（衛生管理：手洗い・トイレなど、学習・遊び・お手伝い：食事の準備や片付けなど）を行います ＊ステップ： あいさつ ➢ 清拭・トイレ ➢ 準備・片付け ➢ お手伝い		
	運動・感覚	1. 各児童の発達段階を評価し、その子の発達段階にあった運動や感覚の発達を（遊び・運動・学習を通して）育む ストレッチ、体操、リズム運動、スポーツ、ゲームなど身体を使う感覚や動きを遊びを通して実践します ＊ステップ：（身体で）感覚遊び ➢ （おもちゃで）象徴遊び ➢ （みんなで）集団遊び ➢ ルール遊び		
	認知・行動	1. 各児童の発達段階を評価し、その子の発達段階にあった認知・行動を実践（遊び・生活・学習・人間関係を通して）し、発達を育む 知育教材や知育おもちゃなどを用い、愉しんで取り組める様にスモールステップで「わかった」から「できた」につなげていきます ＊ステップ：理解（自己・他者） ➢ 運動・感覚の発達 ➢ 言語コミュニケーション・人間関係社会性への準備		
	言語 コミュニケーション	1. 各児童の発達段階を評価し、その子にあった言語コミュニケーションから少し先の状態を（遊び・学習・人間関係を通して）育む 絵カード・ドリルなど様々な知育教材を用い認知と運動させながら愉しんで取り組めるように、スモールステップで支援します ＊ステップ： 語彙 ➢ 聴く・話す ➢ 書く（・描く） ➢ （計算・）推論		
	人間関係 社会性	1. その子の価値観を認めつつ、事業所の子や支援者と共通の活動に取り組む、もしくは向き合う気持ちを育む 2. 運動・感覚で学ぶルール や言語コミュニケーションで学ぶ推論とも運動させながら、自分と相手を理解し、調和を考える力を育む ＊ステップ： 愉しむ ➢ （自らを）育む心 ➢ （自分や相手を）思いやる心 ➢ 社会への関心（見学や体験）		
家族支援		1. 父母連絡システムで連絡を取りやすく、かつ療育の見える化を図る 2. 父母の相談への対応も実践	移行支援	地域の企業との交流を行い、“児は、社会を知る。社会は、児を知る。” 為のネットワークを構築する
地域支援・地域連携		地域の事業所や保育園・小学校との連携を図り児童間の交流を図る	職員の質の向上	1. 理念・療育方針の共有（オリエンテーション・マニュアル）にて療育の標準化を図る。 2. 定期的な面談でフォローアップ
主な行事等		地域探検、公園遊び、お手伝い・おしごと体験、年中行事（七夕、クリスマスなど）		

事業所名

療育サポート ゆめの木

支援プログラム（別紙）

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念	児童のこれまでも認め・理解し、これからに寄り添い・夢を描くお手伝い
支援方針	・療育コンセプト：「できた!!」が広がる毎日。 1. その子の中にある沢山の芽から“強み”を見つけて伸ばす（独自の療育デザイン、褒めたおし療育） 2. 夢を描くオンリーワンの個性を育む（一般療育×専門支援、社会見学・おしごと体験） 3. 親御さんの安心につながる療育サポート（親と子のサポート、安全と健康を守る）

・療育のデザイン と 親子支援のイメージ

主な療育内容



親の安心と、子の自信を育む療育

